

# 感謝報告

和歌山いのちの電話の運営のために次の方々からご支援いただきました。  
誠にありがとうございました。

## い

池田 祐人  
石田 等  
(株)石橋  
市野 弘  
岩崎 頼子  
岩橋 延直  
岩橋 秀樹

## う

上迫 誠朗  
上野 和久

## え

柄本 睦子

## お

岡本 由美  
小川 一夫

## か

加藤 和子  
川島 正明

## き

北野 愛子  
北野 敏紀

## く

栗田 佳樹

## こ

小西 慶直

## さ

坂本 義浩

## し

下前 好美  
新建電機株式会社

## せ

瀬戸 暲子

## そ

惣光 寺

## た

高木 歆恒  
高須 斗季子  
竹下 淳也

## て

医療法人天竹会理事長 竹中庸之

## と

戸井 洋木

## な

仲 幸雄

## は

林 千代子  
(株)春風会 三木拓哉

## ひ

日本基督教団東梅田教会

## ふ

藤田 公洋

## み

光成 美子  
南出 裕子

## や

柳瀬 智明

## よ

横田 栄夫

## わ

渡辺 友子

匿名 1名

(敬称略)

# 2021年度 事業報告

## あなたのご支援をお待ちしております。

和歌山いのちの電話協会では、収益活動を行っていないため、運営に関わる資金を、寄付金、補助金、会費で賅っています。そのため、安定した運営には至っておらず、財政的に厳しい状況が続いております。

どうか、一人でも多くの方々の心の痛みに寄り添う為に、このボランティア活動にご賛同いただき、支援会員という立場で、ご支援をいただきますよう、心よりお願い申し上げます。

個人支援会員 年間1口 3,000円  
法人支援会員 年間1口 10,000円  
(ご支援は1口以上、何口でも結構です、お気持ちをお願いします)

振込先 ◆郵便振替 00940-9-106933  
和歌山いのちの電話協会

◆紀陽銀行 本店 普通 732389  
社会福祉法人 和歌山いのちの電話協会

ご支援いただいた寄付金は税制上の優遇措置の対象となります。

支援者のお名前は広報誌に感謝報告の掲載をさせていただき、講演会の案内なども送付させていただきます。

## 社会福祉法人 和歌山いのちの電話協会

和歌山いのちの電話は様々な悩みや  
心の危機に直面している方や  
身近に相談できる相手がなく  
孤独の中にいる方のための相談電話です。

### 相談電話

和歌山 午前10時～午後10時(年中無休)  
**073-424-5000**

フリー 毎月10日は24時間相談(通話料無料)  
ダイヤル **0120-783-556**

ナビ 午前10時～午後10時(年中無休)  
ダイヤル **0570-783-556**

## 理事長就任のご挨拶

理事長 加藤 和子



令和3年度が始まり、当協会では役員改選の節目を迎えました。開局(1985年)以来長く理事長を務められました岩橋延直氏、日本いのちの電話連盟の理事としても力を発揮されました安田始弘氏に続き、この度私が理事長の大役を仰せつかりました。これまで学ばせていただいたことを生かして、今この団体に求められる役割を模索したいと思います。関係各所の皆様にはさらなるご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

「可愛いくまさんのバスタオル」、マンション掲示板の落とし物お尋ねにはこう書いてあったそうです。落とし主は急いで取りに行き双方が笑顔です。

「袋はご要り用ですかあ、うーん要りますよね…」と両手に荷物を持つ私を見て、お弁当屋さんがすまなさそうに頭を下げてくださいました。それぞれの仕事の一コマに、それがただ事務的に行われていないのを感じた出来事です。街には仕事に心を使うことに慣れている人がたくさんおられ、我々の日常に潤いが与えられています。でも昨年コロナ禍という言葉が随所に入り込み、生活枠を締め静かに息をひそめるような街並み。本当に苦しい人はそれを言えない空気があります。多くを含むコロナ禍という言葉。

我々も昨年は、初めて電話相談業務を約3か月休業に、相談員養成講座を中止にと、回り続けていた車輪を止める年となりました。そのことは相談員一人一人が自分と向き合う機会となりました。諸事情の判断は各自に任され、皆が原点に戻った思いがしたはずです。この電話が相談者にとって必要なように、相談員にとっても大切な場所であるのに、動きを止められる不本意さ。そんな中で窓際にさりげなく置かれた花瓶の花々やちょっとしたメモに、相談員の日常のいたわり合いが見られます。

コロナ禍からコロナ下へ言葉も変わりつつあります。もうコロナと共に前進する力の方が求められ、動けない人々は焦りや諦めに向かうことも想像されます。実際に多くの相談者は、複雑な問題の中で動けない状態を語られます。そして突発的な自分の気持ちの変化を恐れておられます。

いのちの電話の役割は一貫して、心の痛みを話せる場を作ることでした。話すことで痛みを和らげられる、また痛みが残ってもバランスを取ることができ、それが危機を脱することに通じると考えて、長い間続いてきました。今、全国的にいのちの電話ボランティアの希望者が増えたと聞きます。和歌山でも例年にない人数で養成講座が始まりました。多くの熱意が寄せられたことに勇気づけられます。

理事長として学ぶべきことはまだよく見えませんが、連盟で苦心されているつながりにくさの改善のことなどに注意を払い、工夫に努めてまいります。何卒よろしく願い申し上げます。

## 2021(令和3年)年度事業計画

### 基本方針

2020年度のコロナ感染症拡大に伴い、社会ニーズは高まっている状況でありながら、実稼働していただいている電話相談員人員数が50名～60名、直近のブース稼働率は42%に留まっているのが現状です。

そのため、現相談員の復帰の促進並びに新しい電話相談員の育成による電話相談員の確保(実稼働100名)は最優先課題であり、そのための取り組みを実施していきます。

### 1. 第37期電話相談員養成講座の開催

養成講座 2021年5月22日(土)開講～2021年10月16日(土)適性面接 2021年11月13日(土)  
実習 2021年11月26日(土)～2022年3月下旬

### 2. 電話相談員認定式及び永年表彰式

全体での認定式は実施しない。郵送または班会内での表彰を実施検討

### 3. 研修・スキルアップ

- ① 全体研修  
全相談員を対象とした講義・講演形式の研修を年3回以上実施。
- ② 特定研修  
参加者を限定した研修を実施。自主開催研修のほか、他団体が実施するセミナー等への派遣。
- ③ 育成委員向け研修  
育成委員を対象とした研修を年3回実施。

### 4. 会議・連絡会の開催

対面での開催に加え、積極的にオンライン会議を活用し実施。

- ① 運営委員会 年6回開催
- ② 班会 運営委員会開催の間に開催し、年6回実施
- ③ 育成委員(会)

### 5. 公開講座 年1回

### 6. 日本いのちの電話連盟及び中部・近畿ブロック会との連携

2021年5月 日本いのちの電話連盟総会 東京  
2021年5月 日本いのちの電話連盟事務局長研修会 東京  
2021年7月 公益財団法人 JR 西日本あんしん社会財団主催  
近畿ブロック合同研修会 大阪  
2022年1月 中部・近畿ブロック会議

### 7. 寄付金、助成金、補助金(予定)

- ① 和歌山県自殺対策の補助金申請(約65万円)
- ② 和歌山市福祉協議会の助成金申請(5万円)
- ③ JR 西日本あんしん社会財団の助成金申請(60万円)
- ④ 赤い羽根共同募金会助成金申請(100万円)
- ⑤ (新規・単年のみ) 日本財団助成金申請(最大250万円)
- ⑥ 支援援助者・一般からの寄付金

多大なご支援は、養成講座受講料の値下げ、リモート機器類の購入、相談員への交通費支給(今年に限る)等に充当させて頂き、コロナ禍での活動を支援してまいります。

### 収支予算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

(単位:円)

勘定科目	2020年度実績(A)	2021年度予算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支			
収入			
その他の事業収入	1,935,100	5,660,687	-3,725,587
その他の事業収入	1,935,100	5,660,687	-3,725,587
養成研修事業収入		360,000	-360,000
補助金事業収入	1,326,000	4,820,687	-3,494,687
会費収入	609,100	480,000	129,100
経常経費寄附金収入	441,000	470,000	-29,000
受取利息配当金収入	2,711	2,500	211
その他の収入	43,599	156,000	-112,401
雑収入	43,599	156,000	-112,401
事業活動収入計(1)	2,422,410	6,289,187	-3,866,777
支出			
人件費支出	1,100,112	1,400,000	-299,888
事業費支出	1,273,547	2,925,000	-1,651,453
事務費支出	832,832	2,075,600	-1,242,768
事業活動支出計(2)	3,206,491	6,400,600	-3,194,109
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-784,081	-1,111,413	-672,668
施設整備等による収支			
収入			
施設整備等収入計(4)	0	0	0
支出			
施設整備等支出計(5)	0	0	0
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0
その他の活動による収支			
収入			
その他の活動収入計(7)	0	0	0
支出			
その他の活動支出計(8)	0	0	0
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0
予備費支出(10)		100,000	-100,000
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-784,081	-211,413	-572,668
前期末支払資金残高(12)	4,646,360	3,862,279	784,081
当期末支払資金残高(11)+(12)	3,862,279	3,650,866	211,413

# 和歌山のいのちの電話協会

## 設 立

1985年（昭和60年）9月29日（正午）開局

## 社会福祉法人認可

1988年12月28日

## 組 織

理事 7名 監事 2名 評議員 9名

## 相談員数

129名 2021年4月1日現在

## 受信件数

開局以来 累計 319,093件

2020年1月～12月末 3,720件

## 相談時間

午前10時～午後10時（年中無休）

24時間（毎月10日）

## 相談員養成

6か月の講座と5か月の実習の後、準相談員として約1年間の準相談員研修を経て、活動実績及び面接審査の結果に基づき相談員として認定される

## 準相談員研修

準相談員対象 相談員認定へ向けて、基本の相談スキルを学ぶ グループスーパービジョン ケース研究 全体研修会（3回/年）

## 相談員研修

相談員対象 健全な相談活動を行うために継続して研修を受ける グループスーパービジョン 全体研修会（3回/年）

## 育成委員研修

育成委員対象 相談員養成、準相談員・相談員研修のサポートをするために研修を受ける 育成研修（3回/年）

## 運 営

年間予算 約500万円

財源は寄付・支援会員・相談員会費・補助金等で賄っている

## 全国組織

日本いのちの電話連盟 加盟50センター（和歌山は25番目に設立）

## 役 員

理事長 加藤 和子

理 事 小川 一夫 上野 和久  
東 睦広 市野 弘  
小西 慶直 河合 馨

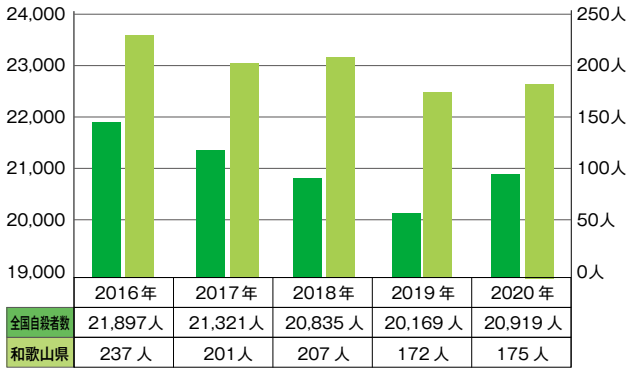
監 事 岩橋 秀樹 紀 俊崇

評議員 竹中 庸之 北野 愛子  
中 拓哉 柳瀬 智明  
高木 歆恒 三木 拓哉  
戸井 洋木 坂田 真穂  
古川 祐典

# 2020（令和2年）年度 事業報告

電話受信件数集計 集計期間 2020年1月1日～2020年12月31日（1年間）

## 全国自殺者数と和歌山県での自殺者数



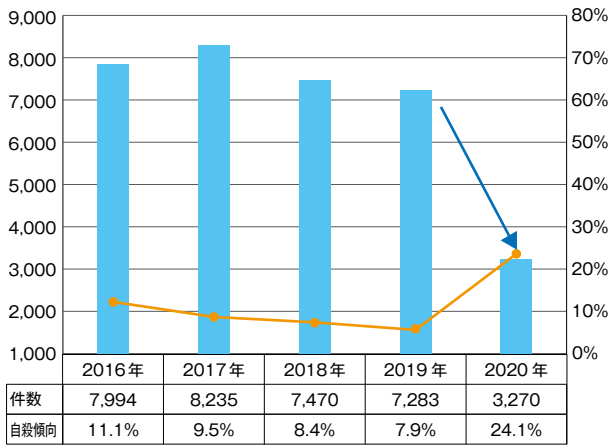
2020年自殺者数は、6月までは前年を下回っていましたが、7月以降増加し、2万919人（速報値）と昨年より微増となりました。原因は、コロナ禍による生活環境の変化に加え、著名人の自殺報道による影響など、幅広い要因が考えられます。若い女性の自殺者数増加がニュースでも報じられていましたが、和歌山いのちの電話の相談電話でも、その傾向が伺えます。

和歌山いのちの電話は、2月17日より5月10日迄コロナ感染症拡大・緊急事態宣言発令により、活動を休止しました。

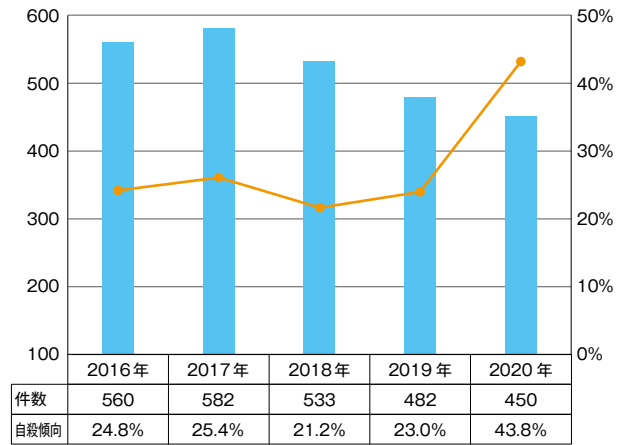
2020年の総受信件数は、3720件（通常受信3270件・フリーダイヤル受信450件）でした。2019年の総受信件数7765件でしたので、2020年の受信件数は52%減となっています。

\*フリーダイヤルとは、毎月10日に24時間体制で行っている自殺予防電話（フリーダイヤル）とコロナ感染症により臨時対応を行った毎日フリーダイヤルの合計

## 通常受信件数と自殺傾向率推移



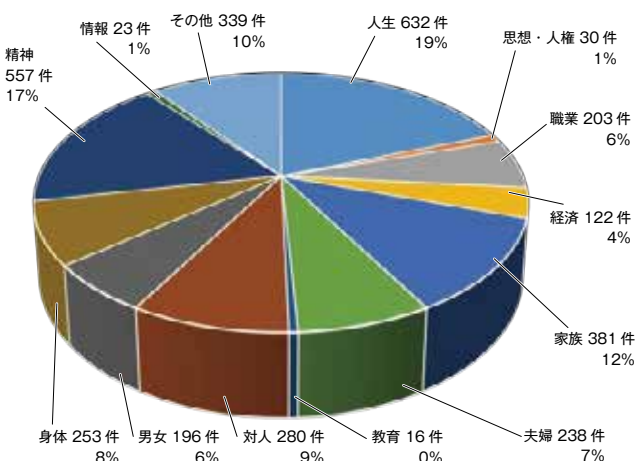
## フリーダイヤル受信件数と自殺傾向率推移



## 通常受信

(3270件)

### 相談内容別件数と割合



2020年は内容別も変化がありました。

例年、「精神」の割合が一番多く、構成比20%を下回ることはありませんでしたが、2020年は2位（17%）となり、代わりに「人生」が19%で順番が入れ替わりました。また、「職業」の割合が昨年4%から6%に増加しております。

2020年は、コロナの影響により、テレビ等でのいのちの電話の案内もあったため、初めてのいのちの電話に電話をかけてきてもらった人が多かったことも肌身で感じました。

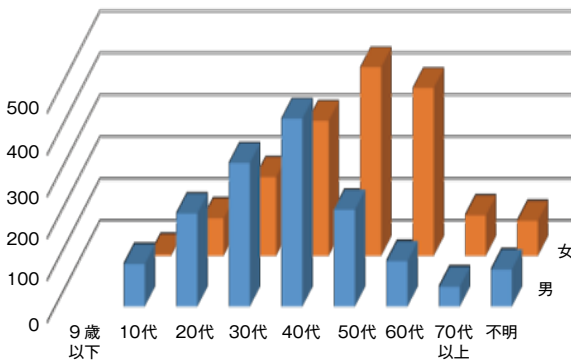
このことが、例年の構成比から変化があった原因だと認識しています。



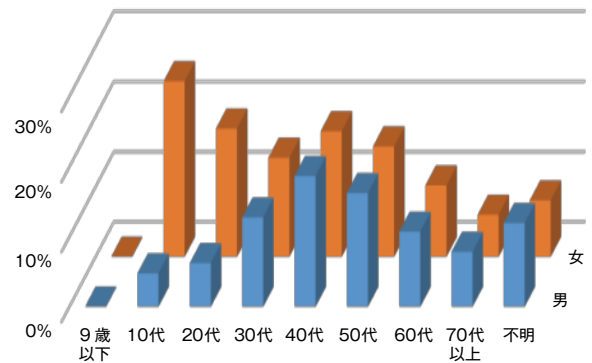
通常受信

(3270件)

年代別受信件数の内訳



年代別自殺傾向割合の内訳



ここ数年の動向として、女性の比率が増加してきておりましたが、2020年は男女の件数が逆転しました。

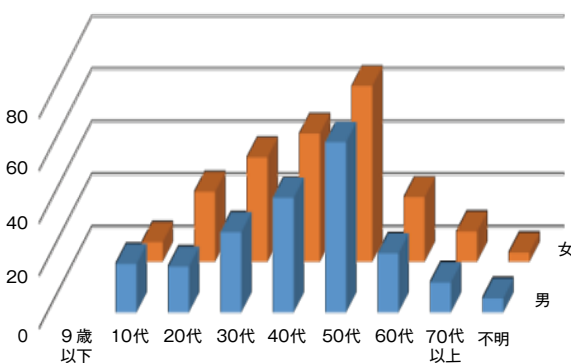
2019年 (男)1.05: (女) 1⇒2020年 (男)1: (女) 1.03  
年代別では、50代女性、40代男性、60代女性からの相談件数が多く、この傾向はここ数年変わりません。

コロナ渦により一番変化したのは、自殺傾向の増加でした。全世代で自殺傾向割合は増加しましたが、特に20代、30代の増加が顕著でした。男女別では、10代女性、20代女性の自殺傾向が、少ない相談件数のわりに顕著でした。

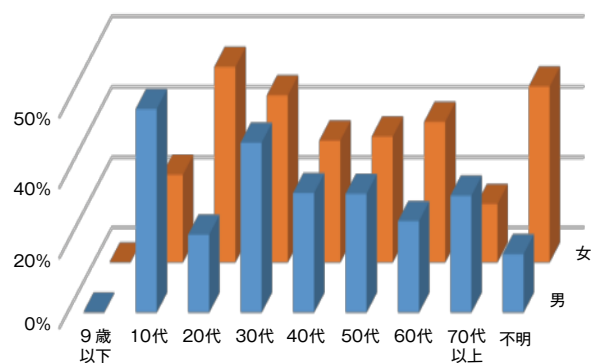
フリーダイヤル受信

(450件)

年代別受信件数の内訳



年代別自殺傾向割合の内訳



コロナ感染症の影響による自殺防止強化のため、連盟主導で毎日フリーダイヤルを16:00-21:00展開。和歌山は8月末までは週2回、以降は週1回参加。マスコミによるフリーダイヤルの告知もあり、初めての人、その内容も明日のお金がないなど直接的・具体的なものが増加し、社会資源へのリファー(紹介)が解決を即すものが当初目立ちました。

コロナの社会不安がある中で、緊急事態宣言解除後に芸能人・有名人の自殺が続いたことがあり、多くの人の心が不安定になったと感じました。20代・30代女性、10代・30代男性の自殺傾向割合が大きく増加。

# 2020（令和2年）年度事業報告

## 事業実施内容 2020年度（令和2年度）（2020年4月1日～2021年3月31日）

### 概要

2020年2月中旬、和歌山県内初のコロナウイルス感染症患者の発生、全都道府県に対する緊急事態宣言の発令により、和歌山いのちの電話協会は2月17日より5月10日迄、相談電話活動・36期養成講座を含む全ての活動を自粛しました。5月11日より電話相談活動を段階的に再開し、7月8日からは従来の相談電話体制に戻しました。

しかし、相談員の電話相談業務への復帰は芳しくなく、現在も50名余りという状況で、受話件数は昨年までの水準には至らず、年間受話件数は3720通話（2019年度比48%）と大幅に減少しました。

また、上半期は芸能人の自殺が続き、報道等で相談機関として「いのちの電話」の案内が頻繁に告知され、いのちの電話の活動が多くの人に再認識して頂いた年でもありました。我々も社会ニーズの期待に応えるべく、従来の10日の24時間フリーダイヤルに加え、毎日フリーダイヤル（16:00～21:00）がいのちの電話連盟で開設され、我々も7月最終週より参加しております。2021年度も「毎日フリーダイヤル」は継続しています。

今こそ、いのちの電話の役割を果たすべき時であるとの思いがある中、コロナ感染症流行が治まらず、思うような活動ができずに、忸怩たる思いを持ちながらの1年でした。

### 取組・実施内容

#### (ア) 相談員養成活動

- 34期生相談員認定への活動
  1. 相談員認定者数14名（うち1名は休務）
  2. スキルアップ勉強会「ケース研究会」の開催  
実施日：9月27日 実施場所：県民文化会館  
参加人数：6名 講師：育成委員長 加藤和子氏
- 35期生相談員認定への活動
  1. 養成講座カリキュラムの変更  
ロールプレイ研修（コーラ役育成委員・相談員役35期生にて携帯電話にて実施）に変更  
期間：4月27日～7月21日 35期生8名  
延べ26回
  2. 準相談員認定  
7月21日付で8名の方を準相談員に認定
  3. 相談員認定に向けたGSV研修  
育成委員が講師となり、グループスーパービジョンを実施（4回）  
1回目：8月22日、2回目：10月3日、3回目：10月31日、4回目：11/9～1/8（個別）  
1回目～3回目：参加者：5名  
講師：育成委員 2名
  4. 相談員認定試験・認定  
試験日：3月13日 場所：和歌山県民文化会館  
受験者数：4名 合格者数：4名
- 37期生養成講座募集活動
  1. 準備段階（8月上旬～1月中旬）
  2. 募集段階（2月上旬～）
    - ・ 募集チラシ配布活動・HP告知  
（例年の配布先に加え、和歌山県社会福祉士会会員、和歌山県精神保健福祉士会会員、こくちーず、和歌山放送ラジオ）
    - ・ ニュース和歌山宣伝広告（3月6日号）
  3. 3月末応募状況  
問合せ者数35名 申込者完了者数22名

#### (イ) 相談員スキルアップ研修

- 全体研修
  1. 『ビフレンディングについて』  
10月31日10:00～12:00  
会場参加27名 Zoom参加9名 計36名

講師：茨城カウンセリングセンター

副理事長 永原伸彦氏

研修会場：和歌山JA会館11F

2. 『発達障害に併発する二次障害の考え方』（第7回発達障害児者の支援者勉強会）

10月31日14:30～16:30 10名（Zoom聴講）

主催：和歌山県発達障害者支援センターポラリス

講師：重里敏子氏（海南医療センター）

研修会場：和歌山JA会館11F

3. 『薬物依存について』

2月13日13:30～15:30

会場参加29名 Zoom参加6名 計35名

講師：和歌山ダルク代表 池谷大輔氏

研修会場：和歌山市中央コミュニティセンター

- 専門職（家）を迎えてのスーパービジョン  
従来のピア・スーパービジョンを専門家によるスーパービジョンに変更（全7回）。

1. 相愛大学名誉教授・信愛大学教授 桑原義登氏

開催日：11月26日 参加人数：5名

開催場所：和歌山県民文化会館

2. 橋本市教育相談センター長

臨床心理士 林民和氏

開催日：12月5日 参加人数：4名

開催場所：和歌山県民文化会館

3. 高野山大学准教授 臨床心理士 森崎雅好氏

開催日：12月18日 参加人数：4名

開催場所：和歌山県民文化会館

4. Office-K代表 臨床心理士 木下忠恭氏

開催日：12月26日 参加人数：5名

開催場所：中央コミュニティセンター

5. 大阪学院大学名誉教授・臨床心理士 安田一之氏

（大阪・京都・兵庫 緊急事態宣言発令のため中止）

6. カウンセリングルーム名草代表

臨床心理士 南方真治氏

開催日：2月4日 参加人数：4名

開催場所：和歌山県民文化会館

7. 相愛大学准教授 臨床心理士 坂田真穂氏

開催日：2月19日 参加人数：5名

開催場所：中央コミュニティセンター

## 事業報告

8. 高野山大学准教授 臨床心理士 上野和久 氏  
開催日：3月4日 参加人数：5名  
開催場所：中央コミュニティセンター

• 育成委員対象研修

1. 『ロールプレイの質を高める』  
目的：相談員に対する指導力を高める  
9月26日13:30～16:00 7名参加  
講師：橋本市教育相談センター長 林民和 氏
2. 書籍配布  
「ムズカシイ電話をどう受ける」有田モト子（横浜いのちの電話）を全相談員に配布。

(ウ) 運営委員会・育成委員会・班会等

- 運営委員会 年6回（隔月・第1火曜日に開催）
  1. 5月 コロナウイルス感染症拡大のため中止
  2. 7月7日 出席者12名  
主な議題：事務局長交代（市野→小西）の連絡、相談体制ルールの変更・毎日フリーダイヤルの参加について
  3. 9月8日 出席者11名  
主な議題：毎日フリーダイヤルの期間延長について  
電話相談の稼働状況について、各種研修等の予定・計画について
  4. 11月3日 出席者11名  
主な議題：専門家を交えてのSVの案内  
受話件数などの現状説明
  5. 1月19日 出席者11名  
Zoomによる（初）開催  
主な議題：緊急対応について
  6. 3月2日 出席者11名  
主な議題：37期養成講座募集開始  
来期の助成金関係について

• 育成委員会

1. 全体会 2回実施（8月1日、10月19日）
2. Zoom 練習（6月7日、14日）
3. 新委員募集 4名の応募
4. 新委員オリエンテーション（11月21日、29日）

• 班会

- 8班体制・運営委員会の翌月に開催（年6回）
1. 4月 中止
  2. 6月 中止
  3. 8月 8班実施 44名参加
  4. 10月 8班実施 52名参加
  5. 12月 4班実施 4班中止 28名参加
  6. 2月 8班実施 53名参加

(エ) 日本いのちの電話連盟及び中部・近畿ブロックとの連携

- 日本いのちの電話連盟総会  
コロナウイルス感染症拡大のため、文書決議で実施。
- 事務局長研修会  
コロナウイルス感染症拡大のため、中止。
- 近畿ブロック合同研修会（JR西日本あんしん財団様の後援にて実施）  
10月12日13:00～17:00

大阪YMCA 国際文化センター 7センター 55名参加  
『コラージュ制作を通して』

講師：安田一之 氏  
（大阪学院大学名誉教授 臨床心理士）

• 中部・近畿ブロック会議

開催日：1月18日10:00～12:00 オンライン開催  
出席者：22名（和歌山からは事務局2名が参加）

(オ) 広報・自殺予防啓発活動等

- リーフレットの制作
  1. 相談員募集リーフレット（新規）  
印刷枚数：1500枚
  2. 相談電話案内リーフレット（改訂）  
印刷枚数：1500枚
- メディアへの露出
  1. 紀伊民報（6/19）  
毎日フリーダイヤルの告知
  2. ニュース和歌山（6/20）  
毎日フリーダイヤルの告知
  3. NHK テレビ「ギョギョッと和歌山」（8/3放映）  
和歌山いのちの電話の活動紹介
  4. 毎日新聞（9/16号朝刊）  
和歌山いのちの電話の活動紹介
  5. 毎日新聞（10/25号朝刊）  
自殺予防週間街頭啓発活動（10/24）
  6. 和歌山新報（3/5号）  
和歌山いのちの電話の活動紹介

(カ) 地域自殺対策会議

- 岩出市自殺対策協議会  
開催日：10月22日14:00～16:00  
開催場所：岩出市役所 出席者：18名（事務局長が参加）
- 和歌山市いのちを支える自殺対策協議会  
対面開催は中止、文書にて協議・決議

(キ) 自殺予防啓発活動

- 自殺予防週間街頭啓発活動を和歌山市保健所と合同で実施  
いのちの電話からは4名が参加し、啓発物を1000セット配布  
実施日時：10月24日11:00～13:00  
実施場所：和歌山市駅前（キノ和歌山）

(ク) 事業運営の新たな取組み・変更

- 会議の実施方法の多様化  
対面会議だけでなく、臨機応変にZoomを活用したオンライン会議の導入実施  
Zoom（プロ）1ライセンス購入  
（運営委員会（1/19）、事務局会議、育成委員会会議、班会）
- オンライン研修の導入  
Zoomを用いたオンラインでの講師・研修参加の実施（全体研修（10/31、2/13）で実施）
- 活動自粛期間中の事務局機能のテレワーク化
- コロナウイルス感染防止のための入退室手順の取り決め、並びに、コロナウイルス感染対策用空気清浄機の導入

# 2020 (令和2年) 年度 事業報告

## 決算報告 (2020年4月1日～2021年3月31日)

### 資金収支計算書

(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異 (A)-(B)
事業活動による収支	その他の事業収入	1,800,000	1,935,100	-135,100
	その他の事業収入	1,800,000	1,935,100	-135,100
	養成研修事業収入	450,000		450,000
	補助金事業収入	726,000	1,326,000	-600,000
	会費収入	624,000	609,100	14,900
	経常経費寄附金収入	400,000	441,000	-41,000
	受取利息配当金収入	4,000	2,711	1,289
	その他の収入	10,000	43,599	-33,599
	雑収入	10,000		10,000
	その他の収入		43,599	-43,599
	事業活動収入計(1)	2,214,000	2,422,410	-208,410
	支出			
	人件費支出	1,320,000	1,100,112	219,888
事業費支出	1,390,000	1,273,547	116,453	
事務費支出	973,200	832,832	140,368	
事業活動支出計(2)	3,683,200	3,206,491	476,709	
事業活動資金 収支差額(3)=(1)-(2)	-1,469,200	-784,081	-685,119	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支出			
施設整備等支出計(5)	0	0	0	
施設整備等資金 収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	
その他の活動による収支	収入			
	その他の活動収入計(7)	0	0	0
	支出			
その他の活動支出計(8)	0	0	0	
その他の活動資金 収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0	
予備費支出(10)	100,000		100,000	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-1,569,200	-784,081	-785,119	
前期末支払資金残高(12)	2,644,870	4,646,360	-2,001,490	
当期末支払資金残高(11)+(12)	1,075,670	3,862,279	-2,786,609	

### 監査報告書

監査報告書			
社会福祉法人和歌山のちのちの電話協会の2020(令和2)年度における会務及び会計監査を下記により、厳正に実施しました。			
記			
1	監査実施日	2021年(令和3年)4月23日	
2	監査資料	(1) 会務報告書 (2) 収支決算書・貸借対照表・財産目録 (3) 預金通帳 (4) 関係諸帳簿等証拠書類 (5) 会議議事録	
3	監査意見	諸帳簿及び証拠書類は、いずれも正しく整備され、収入、支出ともに適切に処理されていると認めます。	
2021(令和3年)年4月23日			
監事	岩橋 秀樹	印	
監事	沼 俊泰	印	

### 貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	4,199,409	4,912,860	-713,451	流動負債	337,130	266,500	70,630
現金預金	3,523,409	4,236,860	-713,451	未払費用	223,067	243,637	-20,570
未収補助金	676,000	676,000	0	預り金	3,063	3,063	0
固定資産	38,836,998	39,173,075	-336,077	前受金	111,000	19,800	91,200
基本財産	10,000,000	10,000,000	0	固定負債			0
定期預金	10,000,000	10,000,000	0	負債の部合計	337,130	266,500	70,630
その他の固定資産	28,836,998	29,173,075	-336,077	純資産の部			
建物	858,322	1,088,111	-229,789	基本金	10,000,000	10,000,000	0
器具及び備品	478,676	584,964	-106,288	その他の積立金	27,500,000	27,500,000	0
施設整備等積立資産	9,700,000	9,700,000	0	施設整備等積立金	9,700,000	9,700,000	0
運営基金積立資産	17,800,000	17,800,000	0	運営基金積立金	17,800,000	17,800,000	0
資産の部合計	43,036,407	44,085,935	-1,049,528	次期繰越活動増減差額	5,199,277	6,319,435	-1,120,158
				(うち当期活動増減差額)	-1,120,158	189,914	-1,310,072
				純資産の部合計	42,699,277	43,819,435	-1,120,158
				負債及び純資産の部合計	43,036,407	44,085,935	-1,049,528